

従来の NGO 等による MSM に対する普及啓発の効果検証と新規感染者減を目的とした 普及啓発の地域、集団、時期及び方法の検討

研究分担者：金子典代（名古屋市立大学大学院看護学研究科 国際保健看護学）

研究要旨

本研究では、日本国籍若年 MSM が多く来場する名古屋市無料 HIV 検査会受検者の社会、疫学的情報を明確化し、有効な普及啓発を検討することを目的とする。令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により名古屋市無料検査会（以下検査会）が実施できなかったことから、検査会についてのデータ解析を実施した。平成 30 年度の検査会受検者アンケートについて、郵送検査・自宅検査の利用ニーズについて解析を行った。また令和元年度の検査会にて陽性が判明したものの背景解析を行った。郵送検査・自宅検査を希望する人は回答者 600 人のうち、4 割を超えていた（42.7%）。なお、自身で支払える金額は 6 割以上（63.3%）の人が 2000 円までと回答していた。受け取りたい場所として、78.5%が自宅と回答していた。郵送検査の利用希望者のほうがバイセクシュアルの割合が高く、高年収者の割合が高く、コンドーム常用割合が高かった。新型コロナウイルス感染症拡大前においても郵送検査の利用の希望割合は 4 割を超えており、MSM における一つの検査オプションとなることが示された。

A. 研究目的

新規感染者数の抑制と早期診断のために、男性間で性的接触を行うもの、その他の層の実態を把握し、効果的な知識の普及啓発、検査の普及が重要となる。本研究では、日本国籍若年 MSM が多く来場する名古屋市無料 HIV 検査会受検者の社会、疫学的情報を明確化し、有効な普及啓発を検討することを目的とする。また最終的には、名古屋市無料 HIV 検査会の受検者動向の推移を見ることで啓発効果を検証する。

B. 研究方法

令和 3 年度も新型コロナウイルス感染症拡大の影響により名古屋市無料検査会が実施できなかったことから、過去の名古屋市無料検査会の来場者の質問紙調査のデータの分析を行った。特に今後の検査提供戦略では、多くの検査のオプションを提示し、必要な対象に適した検査を提供する必要性が高くなる。とくに郵送検査へのニーズは高いことが言われてきた。郵送検査とは、ランセットで指先から血液を採取し、検体を郵送し、結果を PC 上で確認する検査であり、日本でも利用者が多い。名古屋市無料検査法では、新型コロナウイルス感染症拡大前から、受検者において郵送検査についてのニーズについて尋ねており、その実態を分析した。平成 30 年度に実施した検査会受検者アンケートについて、郵送検査の利用希望があるものと利用希望がないもの

のを比較し、希望者の特性を分析した。

名古屋市の無料 HIV 検査会の受検者アンケートの対象は、名古屋市無料 HIV 検査会に来場したものである。会場にて、スタッフがアンケートへの任意協力を口頭にて依頼し、検査会場（採血前）にて、受検者に記入を依頼した。無記名であり、回答の強制力はなく、任意であることも口頭、文書で説明した。質問項目は、基礎属性、検査受検歴、性行動、性感染症の罹患経験、予防啓発の認知を含んでいる。

また検査会で陽性が判明したものにおける社会背景や性行動、検査会を知った広報媒体、出会いの場についても解析を行った。なお、データの解析には SPSS-ver22.0 を用いた。統計学的有意水準は 5%を採用した。なお、全ての研究は名古屋市立大学大学院看護学研究科研究倫理委員会より承認を得たうえで実施した。

C. 研究結果

郵送検査・自宅検査を希望する人は回答者 600 人のうち、4 割を超えていた（42.7%）。なお、自身で支払える金額は 6 割以上（63.3%）の人が 2000 円までと回答していた。

受け取りたい場所として、78.5%が自宅と回答していた。

郵送検査の利用希望者と非希望者を比較すると、希望者のほうがバイセクシュアルの割合が高く、高年収者の割合が高いことが示された。

また郵送検査希望者のほうがコンドーム常用割合が高かった。

令和元年度検査会の陽性判明者については、検査会を知った資材は、一様な傾向はなく、紙資材、ネット資材、サイトなど複数のものに触れていた。定期的な検査経験を持つものが半数以上を占めていた。ハッテン場の利用経験は半数以上が有していた。

D. 考察

新型コロナウイルス感染症の拡大が続き、今年度も対面型の行政による検査会の実施は難しくなった。これまで恒常的に行われてきた保健所による無料匿名の対人個別対応型の保健所の提供も新型コロナウイルス感染症の流行時には大きく落ち込むことが続いている。

手厚い説明やサポートを提供する保健所専門職による対人の検査提供のみならず、ある程度 HIV についても知識があり、検査経験も豊富なクライアントにはモニタリングとして郵送検査等も活用する方向性も考えていく必要があるだろう。本研究では、郵送検査を希望する層が新型コロナウイルス感染症拡大前に実施した検査会利用者においても、4割いることが示された。またバイセクシュアル、高年収、予防に意識がある層の方が利用希望が高いことも示された。また検査会で陽性が判明したものにおける特性を解析した結果から、紙、ネット、SNS と複数の資材の広告から、検査会を知り来場していた。したがって今後も MSM 向け媒体を複数利用しながら、広報を継続する必要性が示された。とくに SNS のアプリ広告、Twitter はどの年齢層でも利用していることから、必須の媒体であることが示された。しかし、ネット系の広告を影響を及ぼすインパクトがあるものにするには莫大な予算が必要であることが課題である。またハッテン場利用層に届くことも重要である。新型コロナウイルス感染症拡大によりハッテン場は閉鎖している場所も多く、出会いの場が変わっていくことも考えられ、その実態も把握し広報を展開する必要があるだろう。

E. 結論

新型コロナウイルス感染症拡大前に実施された無料 HIV 検査会においても、郵送検査の利用の希望割合は 4 割を超えており、MSM における一つの検査オプションとなることが示された。また検査会における陽性判明者の背景解析から、複数の資材を組み合わせた広報、SNS 系の広報が重要であること、ハッテン場利用者は引き続き検査会の広報を届けるうえで重要な層であるこ

とが示唆された。

F. 研究発表

1. 論文発表

1. Hill A.O., Bavinton B.R., Kaneko N, Lafferty L, Lyons A, Gilmour S, Armstrong G.: Associations between social capital and HIV risk-taking behaviours among men who have sex with men in Japan. Archives of Sexual Behavior, 50(7):3103-3113, 2021 doi:10.1007/s10508-021-02097-3.
2. 金子典代, 塩野徳史: コミュニティセンターに来場するゲイ・バイセクシュアル男性の HIV・エイズの最新情報の認知度と HIV 検査経験, コンドーム使用との関連. 日本エイズ学会誌, 23(2), 78-86, 2021.
3. 宮田りりい, 塩野徳史, 金子典代: MSM (Men who have sex with men) に割り当てられるトランスジェンダーを対象とする HIV/AIDS 予防啓発に向けた一考察-ハッテン場利用経験のある女装者 2 名の事例から. 日本エイズ学会誌, 23(1), 18-25, 2021.

2. 学会発表

国内

1. 金子典代: 日本の MSM における HIV 検査の促進、阻害要因に基づく検査拡大戦略。第 1 回 Fast-Track Cities Workshop Japan, Tokyo, 2021
2. 金子典代: MSM を対象とした HIV 検査促進プログラムの変遷と HIV 検査機会拡大にむけた新たな試み. 日本エイズ学会シンポジウム, 第 35 回日本エイズ学会学術集会・総会, 東京, 2021

G. 知的財産権の出願・登録状況 (予定を含む)

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし

表1 解析対象者の基本属性（2018年検査会受検者）

	人 ¹⁾	%		人 ¹⁾	%
年齢			年収		
29歳以下	212	34.5	200万円未満	91	15.2
30歳～39歳	230	37.4	200万以上400万未満	241	40.4
40歳以上	173	28.1	400万以上600万未満	176	29.5
性的指向			600万円以上	89	14.9
ゲイ	537	87.3	生涯でのHIV抗体検査受検経験		
バイセクシュアル	57	9.3	あり	509	84.7
その他	17	2.8	なし	92	15.3
居住地			過去1年間でのHIV抗体検査受検経験		
名古屋市	214	34.9	あり	242	47.4
名古屋市を除く愛知県	179	29.2	なし	269	52.6
その他東海地域	221	36	過去6カ月の性交渉経験		
学歴			あり	587	95.8
中学校卒業・高等学校卒、在学中	155	25.4	なし	26	4.2
専門学校・短期大学・高専卒、在学中	128	20.9			
大学卒業、在学中	282	46.2			
大学院修了、在学中	46	7.5			
身分					
公務員、会社員（正社員）	287	47			
会社員（契約・派遣社員）	205	33.6			
パート・アルバイト	33	5.4			
自営業・自由業	31	5.1			
高校生、大学生・大学院生	35	5.7			
無職・その他	20	3.3			

表2 郵送検査、自宅検査のニーズ

	人 ¹⁾	%
郵送検査・自宅検査希望		
はい	256	42.7
いいえ	344	57.3
何円まで払えるか		
1000円まで	65	25.4
1000～2000円	97	37.9
2000～3000円	62	24.2
3000～5000円	25	9.8
どこで受け取りたいか（複数回答）		
バーなどのお店	35	13.7
コミュニティセンター（ise）	35	13.7
ハッテン場	14	5.5
自宅（郵送で受け取る）	201	78.5
その他	4	1.6

注¹⁾ 欠損値を分析より除外したため総数が異なる

図 1

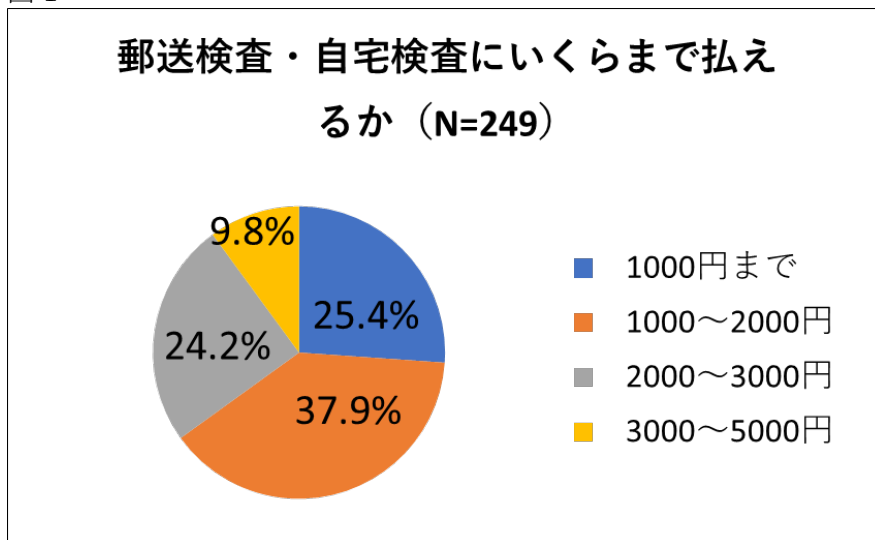


表 3. 基礎属性と郵送検査・自宅検査希望の有無との関連

	郵送検査・自宅検査を 利用したいと思いますか？				p値	郵送検査・自宅検査を 利用したいと思いますか？				p値	
	はい (n=256)		いいえ (n=344)			はい (n=256)		いいえ (n=344)			
	n ¹⁾	%	n ¹⁾	%		n ¹⁾	%	n ¹⁾	%		
年齢別											
29歳以下	78	30.5%	130	37.8%	0.149	200万円未満	30	11.9%	59	17.8%	0.003
30歳～39歳	98	38.3%	124	36.0%		200万以上400万未満	90	35.6%	148	44.6%	
40歳以上	80	31.3%	90	26.2%		400万以上600万未満	86	34.0%	86	25.9%	
性的指向						600万円以上	47	18.6%	39	11.7%	
ゲイ	223	87.5%	300	88.0%	0.044	生涯でのHIV抗体検査受検経験					
バイセクシュアル	29	11.4%	27	7.9%		あり	211	84.4%	287	85.4%	0.733
その他	3	1.2%	14	4.1%		なし	39	15.6%	49	14.6%	
居住地						過去1年間のHIV抗体検査受検経験					
名古屋市	97	38.0%	111	32.3%	0.27	あり	95	44.4%	142	49.5%	0.259
名古屋市を除く(愛知県)	67	26.3%	107	31.1%		なし	119	55.6%	145	50.5%	
その他東海地域	91	35.7%	126	36.6%		同居相手					
学歴						あり	111	43.4%	174	50.6%	0.08
中学校卒業・高等学校卒、在学中	57	22.4%	95	27.9%	0.23	なし	145	56.6%	170	49.4%	
専門学校・短期大学・高専卒、在学中	50	19.6%	76	22.3%		結婚相手					
大学卒業、在学中	126	49.4%	148	43.4%		あり	1	0.4%	12	3.5%	0.01
大学院修了、在学中	22	8.6%	22	6.5%		なし	251	99.6%	327	96.5%	
身分						過去6か月間に利用したもの					
公務員、会社員(正社員)	118	46.5%	166	48.5%	0.708	ウイ専などの有料サービス	13	5.1%	8	2.3%	0.07
会社員(契約・派遣社員)	93	36.6%	106	31.0%		位置情報が必要なアプリ(monstersなど)	158	61.7%	207	60.2%	0.701
パート・アルバイト	13	5.1%	19	5.6%		ゲイバーやレズビアンバーなどの利用	107	41.8%	146	42.4%	0.874
自営業・自由業	12	4.7%	17	5.0%		ハッテン場で有名な銭湯・プール等の施設	68	26.6%	77	22.4%	0.237
高校生、大学生・大学院生	11	4.3%	21	6.1%		有料のハッテン場	79	30.9%	98	28.5%	0.529
無職・その他	7	2.8%	13	3.8%							

注¹⁾ 欠損値を分析より除外したため総数が異なる

表 4 郵送検査・自宅検査希望の有無と性行動との関連

	郵送検査・自宅検査を 利用したいと思いますか？				p値
	はい (n=256)		いいえ (n=344)		
	n ¹⁾	%	n ¹⁾	%	
過去6か月間の男性との性交渉経験					
あり	244	95.7%	328	95.6%	0.972
なし	11	4.3%	15	4.4%	
過去6か月間の特定の相手との性交渉経験					
あり	184	73.9%	244	74.2%	0.942
なし	65	26.1%	85	25.8%	
過去6か月間の友達やセックスフレンドとの性交渉経験					
あり	191	78.0%	249	77.3%	0.859
なし	54	22.0%	73	22.7%	
過去6か月間のその場限りの相手との性交渉経験					
あり	172	70.2%	203	63.2%	0.083
なし	73	29.8%	118	36.8%	
最も最近の特定の相手との性交渉時のコンドーム使用					
あり	104	40.6%	109	31.7%	0.024
なし	152	59.4%	235	68.3%	
最も最近の友達やセックスフレンドとの性交渉時のコンドーム使用					
あり	103	40.2%	141	41.0%	0.852
なし	153	59.8%	203	59.0%	
最も最近のその場限りの相手との性交渉時のコンドーム使用					
あり	109	42.6%	116	33.7%	0.027
なし	147	57.4%	228	66.3%	

注¹⁾ 欠損値を分析より除外したため総数が異なる

表 5 検査会における陽性判明者の基礎属性、啓発資材の認知、性行動

年齢	居住地	性指向	検査経験	直近の検査	見た啓発資材	受検理由	STD既往	コンドーム使用	過去半年ハッテン場利用
20歳代	愛知県	ゲイ	あり	NLGR	Twitter	ただ単に知りたい	なし	その場相手と不使用	あり
30歳代	甲信越	ゲイ	あり	NLGR	ちらし、 パンフ、 9モン、 Twitter、 NLGRサイト	定期的に受検	A型肝炎	過去半年は常用	なし
40歳代	名古屋市	ゲイ	あり	NLGR	ポスター、 ペーパー、 チラシパンフ、 ゲイ雑誌、 9モン、 Twitter	定期的に受検	B型肝炎	どの相手とも使わず	あり
20歳代	愛知県	ゲイ	あり	1年以上前ク リニックで	チラシパンフ ネット系はなし	他の人に感染させたくない 新しい恋人ができた ただ単に知りたい		常用	なし
20歳代	東京	ゲイ	あり	半年前に保 健所で	どれもなし	定期的に受けている	クラミジア、 性器ヘルペス	特定とセフレでは使わず	なし
20歳代	京都	ゲイ	なし		チラシパンフ、 Twitter、 NLGRサイト	ただ単に知りたい	なし	特定とはつかわず	あり
40歳代	愛知県	ゲイ	あり	NLGR	ポスター、 ネット系無し	定期的に受けている		使っている	あり
50歳代	名古屋市	ゲイ・ 結婚あり	なし		チラシパンフ、 9mon、 Twitter、 NLGR	他の人に感染させたくない ゴムなしオーラル ただ単に知りたい	なし	常用	あり
20歳代	名古屋市	ゲイ	あり	1年以上前に 保健所で	9モン、 Twitter	情報に触れて心配になった ゴムなしアナルをした	梅毒、 コンジローマ	セフレとつかわず	なし